

## 事業者版環境ISO取得3回コース <質疑応答におけるQ&A>

### 行動計画書作成について

#### <第1章 対象項目の選択>

Q1-1 記入表はどう作成するのか

A1-1 県庁・環境政策課又は県民エコステーションのホームページにアクセスして必要な書類（WORD版）をダウンロードして文面・項目や数字を修正しそのまま活用すると楽に作成できます。

Q1-2 環境負荷の選択はどうするか

Q1-2 必須の3つ（エネルギー・廃棄物・紙・水）以外にあると良い

#### <第2章 環境への負荷と取組み状況の自己チェック>

Q2-1 各年度及び年月期間はどのようにすれば良いか

A2-1 事業者の決算年度の年月にするとまとめやすいでしょう。

データ収集も同じような年月で集めると良いでしょう。

Q2-2 事業活動の規模、売上高についてどのようにするのか？

A2-2 売上げの単位は 企業規模に合わせてください。 千・万・億など

売上げは年度毎の推移を比較するものですからおおよその数字でいいと思います。

Q2-3 主要製品生産量とは どのようにすれば

A2-3 工場以外のサービス業などは 不要です。

Q2-4 事業所の床面積とは 倉庫、工場はどうするのか

A2-4 あくまでも環境負荷が発生する事業所・工場とするが、駐車場などで電灯が多い、事業所内の倉庫で電灯が多ければ環境負荷が発生すれば該当する。

Q2-5 二酸化炭素の排出量についてどのように計算するのか？

A2-5 エネルギーの排出量に排出係数を掛けて排出量を算出してください。

すでに自社で排出量を計算してある場合はその様式を利用しても良い

Q2-6 自宅と事業所が同じ場合で電気のメーターなど分かれていない場合はどうする。

A2-6 経理・決算上の案分で良いが 出来るだけ実態に合わせる案分としてほしい。

今後はメーターを付けるなども検討してほしい。

Q2-7 ビル事務所やテナントの場合は電気量などどう分けるのか

A2-7 だいたいの案分でしか出来ないと思われる。年度によってデータのバラつきが出るのはやむを得ない。 今後はメーターを付けるなども検討してほしい。

Q2-8 一般廃棄物の排出量や産業廃棄物の排出量はどうように記入するのか

A2-8 一般廃棄物は今後、数値を残していくことで良い、環境負荷の概要（表 P35）の下に「なお、一般廃棄物の排出量については〇年〇月よりデータを把握することにしていきます。」と表記する。産業廃棄物はマニフェスト控えから数値を集計する。

Q2-9 資源の利用量について 地下水はメーターが付いていないがどうするか？

A2-9 地下水は今後、メーターを付けるか何らかの方法で計測することをお勧めします。

Q2-10 紙・コピー紙については

A2-10 古紙配合率の不正が明るみに出たが、配合率に該当するところで記入してください。

Q2-11 各チェック表の記入について

A2-11 取組み内容でまったく該当しないものは削除しても良いが評価記号は付ける事

### <第3章 取組み方針と取組み目標、具体的な取組の策定>

Q3-1 取組方針の宣言について

A3-1 ②重点的に取組む対象項目については 省エネ・ガソリンなど

③代表者の署名については 事業所の所長署名とする。

④・・・外部に公表されていることとは ホームページなどで公表すること

Q3-2 実施体制の構築について

A3-2 判りやすく会社・事業所の組織図を作成し添付する。

### <第5章 環境行動計画の実行>

Q5-1 取組状況の確認はどうするのか

A5-1 1年後、取組についてチェックする方法などを考えたいが、具体的な方法などまだ不明ですが、今後検討したい。